

「生活意識に関するアンケート調査」（第16回） の結果

平成15年4月23日
情報サービス局

（はじめに）

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本店や支店を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めていますが、その1つの手法として、平成5年以降、全国20歳以上の個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が四半期ごとに行っている「企業短期経済観測調査（短観）」のような統計指標としての調査ではなく、生活者の意識や行動を大まかに伺う一種の世論調査です。

（調査概要）

- ・調査実施期間：平成15年3月7日～3月17日
- ・調査対象：全国の20歳以上の個人
- ・標本数：4,000人（有効回答者数3,043人＜有効回答率76.1％＞）
- ・抽出方法：層化2段無作為抽出法
- ・調査方法：設問票によるアンケート調査（訪問留置法）

1. 景況感等

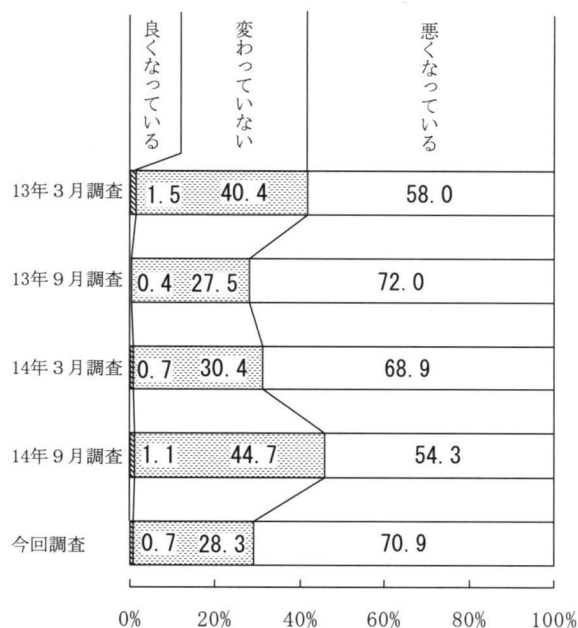
(1) 景況感

景況感（1年前対比）については、「悪くなっている」が増加し、D. I.（「良くなっている」－「悪くなっている」）は、前回調査に比べ悪化した（前回比▲17%ポイント）。

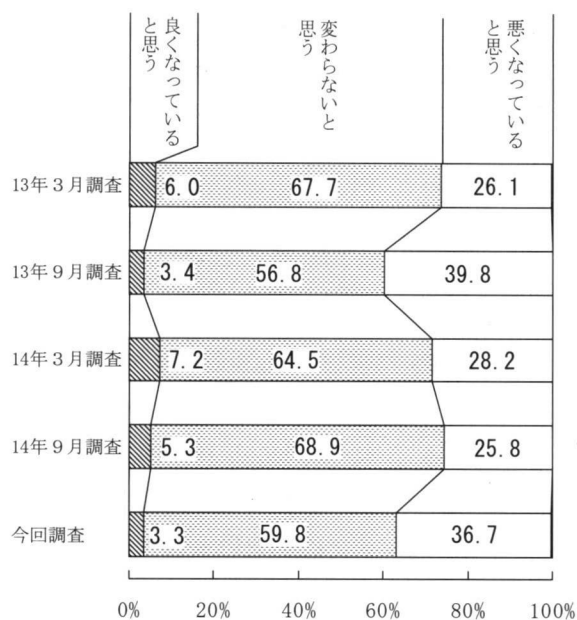
また、1年後までの先行きに関するD. I.（「良くなっていると思う」－「悪くなっていると思う」）も悪化した（前回比▲13%ポイント）。

（図表1）景況感（%）〔問1、4〕

＜現在を1年前と比べると＞



＜1年後を現在と比べると＞



＜景況感D. I. の推移＞

	8年3月 調査	9年3月 調査	10年3月 調査	10年11月 調査	11年3月 調査	11年9月 調査	12年3月 調査	12年9月 調査	13年3月 調査	13年9月 調査	14年3月 調査	14年9月 調査	今回調査
現 在 (前回比)	-23.0	-30.2 (-7.2)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)	-20.6 (+9.2)	-56.5 (-35.9)	-71.6 (-15.1)	-68.2 (+3.4)	-53.2 (+15.0)	-70.3 (-17.1)
1年後の予想 (前回比)	-2.2	-24.8 (-22.6)	-21.6 (+3.2)	-20.1 (+1.5)	-1.3 (+18.8)	-1.4 (-0.1)	0.2 (+1.6)	-0.9 (-1.1)	-20.1 (-19.2)	-36.4 (-16.3)	-20.9 (+15.5)	-20.5 (+0.4)	-33.4 (-12.9)

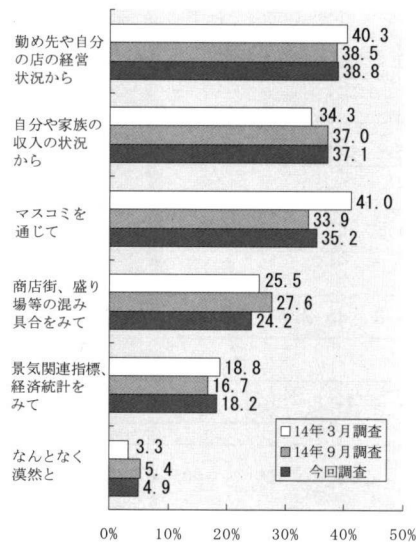
(2) 景気判断の方法と景気の受け止め方等

景気判断の方法についてみると、「勤め先や自分の店の経営状況から」、「自分や家族の収入の状況から」との回答が多く、次に「マスコミを通じて」、「商店街、盛り場等の混み具合をみて」との回答が続いている。

景気の受け止め方についてみると、約6割が「これまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力等では対応に限界があると思う」と回答した。一方、「企業の努力等により景気は時間が経てばいずれ良くなると思う」との回答は前回調査比減少した。

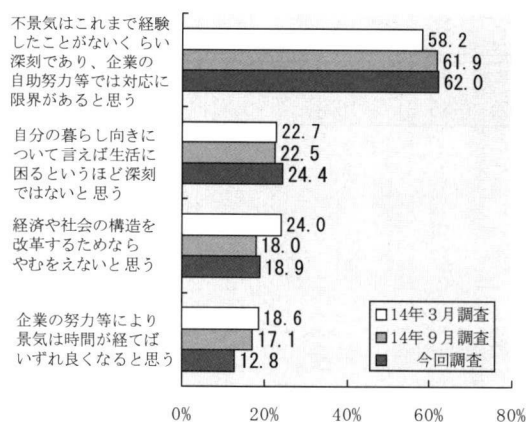
金利水準についての見方は、「現在の金利水準でも、景気が良くなることは期待できない」との回答が半数を超えており、「企業の活動が活発になり、景気が良くなることを期待している」は前回調査比減少した。

(図表2) 景気判断の方法(%, 2つまでの複数回答) [問2]



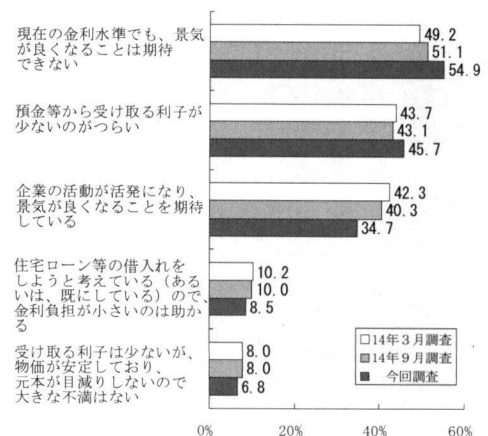
(図表3) 景気の受け止め方

(%, 複数回答) [問3]



(図表4) 金利水準についての見方

(%, 2つまでの複数回答) [問5]

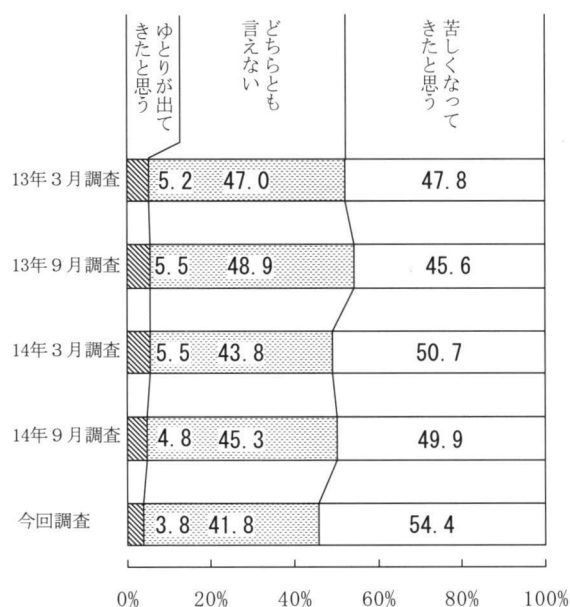


2. 暮らし向き、消費意識

(1) 現在の暮らし向き

暮らし向き（1年前対比）については、「苦しくなってきた」との回答が前回調査比増加し、調査開始以来最悪の水準となった。この結果、暮らし向きD. I.（「ゆとりが出てきた」－「苦しくなってきた」）も前回調査比悪化し、「苦しくなってきた」超幅が調査開始以来最大となった（前回比▲5%ポイント）。

（図表5）現在の暮らし向き（%）〔問17〕



<暮らし向きD. I. の推移>

	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	13年3月調査	13年9月調査	14年3月調査	14年9月調査	今回調査
暮らし向きD. I. (前回比)	-42.5 —	-49.4 (-6.9)	-42.2 (+7.2)	-42.9 (-0.7)	-41.1 (+1.8)	-39.4 (+1.7)	-42.6 (-3.2)	-40.1 (+2.5)	-45.2 (-5.1)	-45.1 (+0.1)	-50.5 (-5.4)
景況感D. I. (前回比)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)	-20.6 (+9.2)	-56.5 (-35.9)	-71.6 (-15.1)	-68.2 (+3.4)	-53.2 (+15.0)	-70.3 (-17.1)

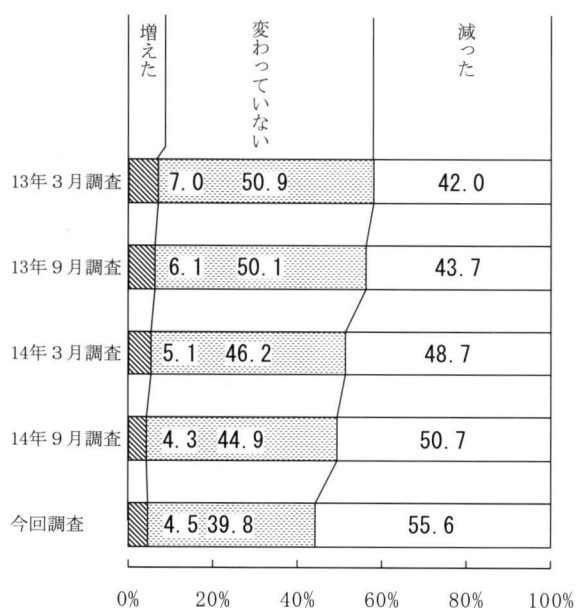
(2) 収入

収入(1年前対比)については、「減った」との回答が増加したことから、D. I. (「増えた」－「減った」)は悪化し、「減った」超幅が前回調査に続き調査開始以来最大となった。

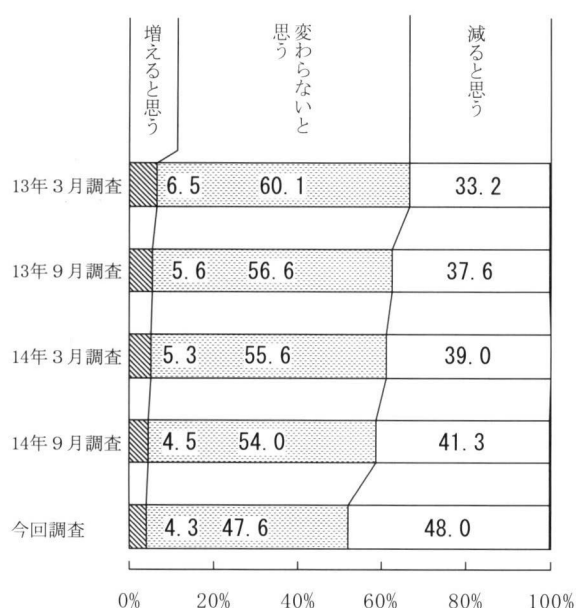
先行きについても、半数近くが「減ると思う」と回答し、D. I. (「増えると思う」－「減ると思う」)も「減ると思う」超幅が前回調査に続き調査開始以来最大となった。

(図表6) 収入(%) [問6、7]

<現在を1年前と比べると>



<1年後を現在と比べると>



<収入D. I.の推移>

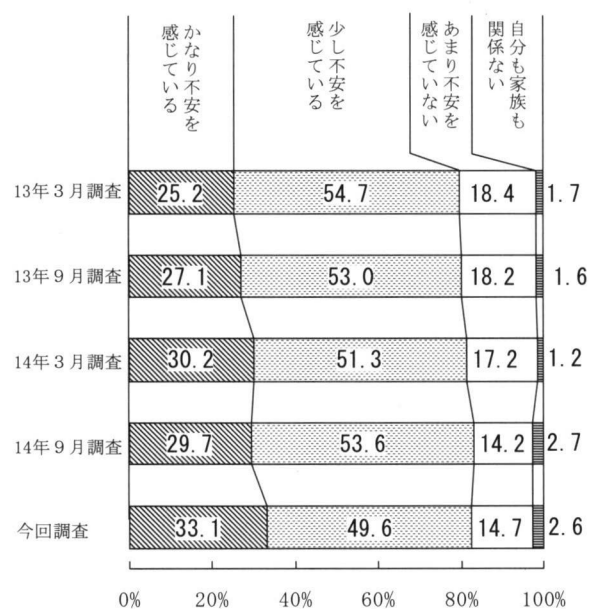
	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	13年3月調査	13年9月調査	14年3月調査	14年9月調査	今回調査
現在 (前回比)	-11.9	-10.0	-22.8	-37.0	-34.2	-39.3	-37.1	-34.7	-35.0	-37.6	-43.6	-46.5	-51.1
	—	(+1.9)	(-12.8)	(-14.2)	(+2.8)	(-5.1)	(+2.2)	(+2.4)	(-0.3)	(-2.6)	(-6.0)	(-2.9)	(-4.6)
1年後の予想 (前回比)	—	-7.6	-21.0	-29.8	-23.1	-27.1	-26.5	-23.3	-26.7	-32.0	-33.7	-36.8	-43.7
	—	—	(-13.4)	(-8.8)	(+6.7)	(-4.0)	(+0.6)	(+3.2)	(-3.4)	(-5.3)	(-1.7)	(-3.1)	(-6.9)

(3) 雇用環境

勤労者で勤め先の雇用・処遇について「不安を感じている」^(注)との回答は引続き全体の8割強を占めているが、このうち「かなり不安を感じている」との回答が前回調査比増加した。

(注) 『不安を感じている』は、「かなり不安を感じている」と「少し不安を感じている」の合計。

(図表7) 勤め先での雇用・処遇についての不安(％、勤労者)〔問20〕



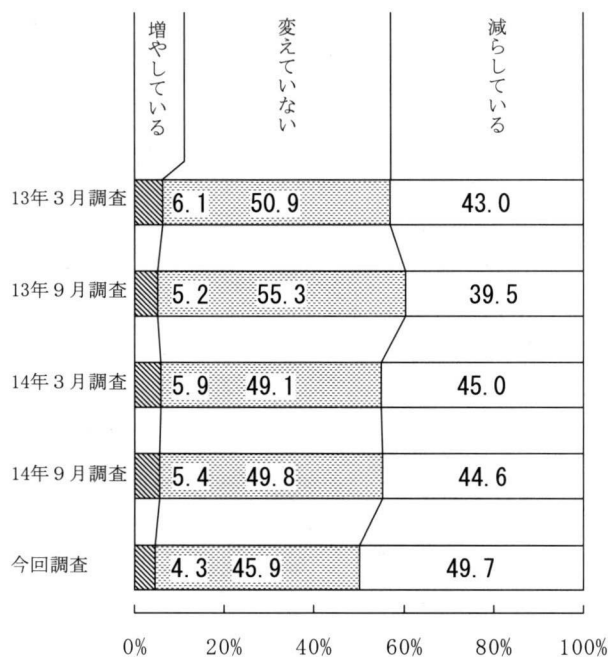
(4) 支出

支出(1年前対比)については、約半数が「減らしている」と回答し、前回調査比でも増加した。D. I. (「増やしている」－「減らしている」)も悪化し、「減らしている」超幅が前回調査に続き調査開始以来最大となった。

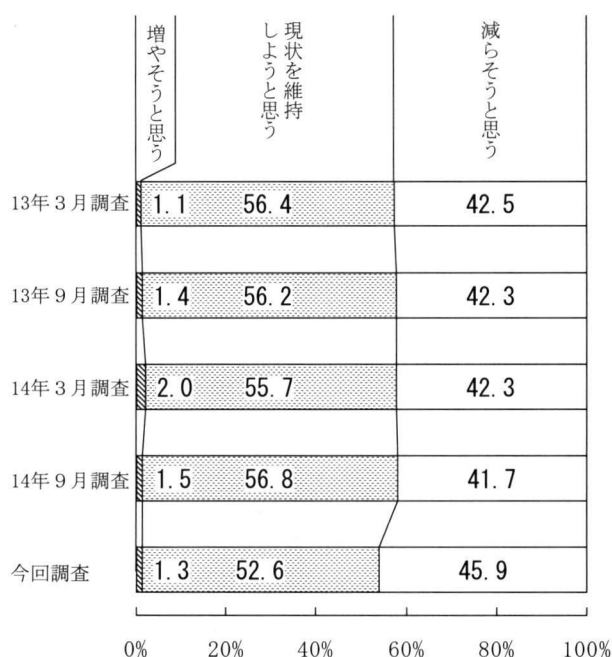
1年後までの先行きについても、「減らそうと思う」との回答が増加した。

(図表8) 支出(%) [問8、10]

<現在を1年前と比べると>



<1年後を現在と比べると>



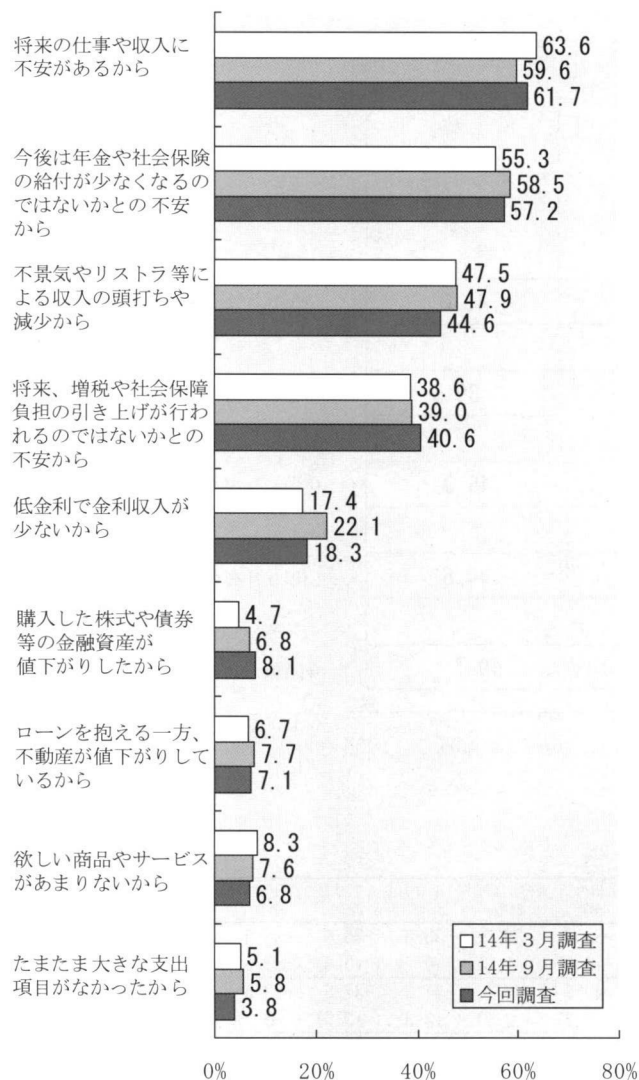
<支出D. I.の推移>

	8年3月調査 (注)	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	13年3月調査	13年9月調査	14年3月調査	14年9月調査	今回調査
現在 (前回比)	(-38.4)	-16.7	-34.7	-36.0	-35.8	-35.4	-35.4	-32.4	-36.9	-34.3	-39.1	-39.2	-45.3
	—	(+21.7)	(-18.0)	(-1.3)	(+0.2)	(+0.4)	(±0.0)	(+3.0)	(-4.5)	(+2.6)	(-4.8)	(-0.1)	(-6.1)
1年後の予想 (前回比)	(-49.7)	-38.6	-40.9	-43.6	-41.3	-37.8	-38.5	-38.6	-41.4	-41.0	-40.2	-40.2	-44.5
	—	(+11.1)	(-2.3)	(-2.7)	(+2.3)	(+3.5)	(-0.7)	(-0.1)	(-2.8)	(+0.4)	(+0.8)	(±0.0)	(-4.3)

(注) 「減らしている(減らそうと思う)」の選択肢は、8年3月調査では「切り詰めている(切り詰めようと思う)」。

1年前に比べ支出を減らしたと回答した人にその理由を尋ねたところ、約6割が「将来の仕事や収入に不安があるから」、「年金や社会保障の給付が少なくなるとの不安から」と回答しており、次に「不景気やリストラ等による収入の頭打ちや減少から」、「増税や社会保障負担の引き上げが行われるのではないかと不安から」が続いている。

(図表9) 支出を減らしている理由(%, 複数回答) [問8-b]



3. 物価に対する実感

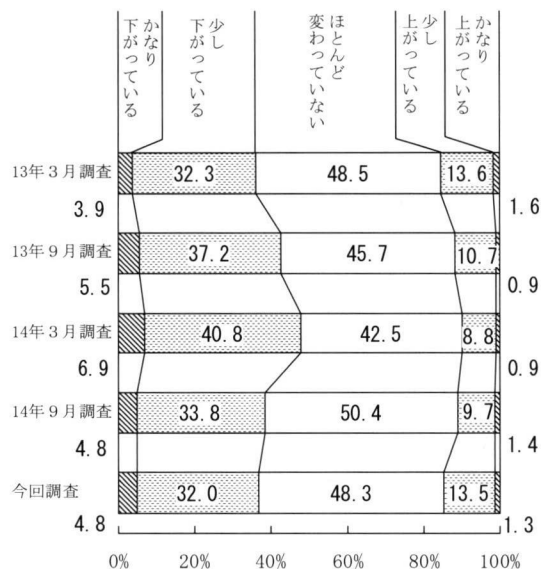
物価に対する実感(1年前対比)は、「物価は下がっている」^(注)との回答が4割弱となった。一方、1割強が「物価は上がっている」との回答となった。

先行きについては、約1割が「物価は下がる」、2割強が「物価は上がる」との回答となった。

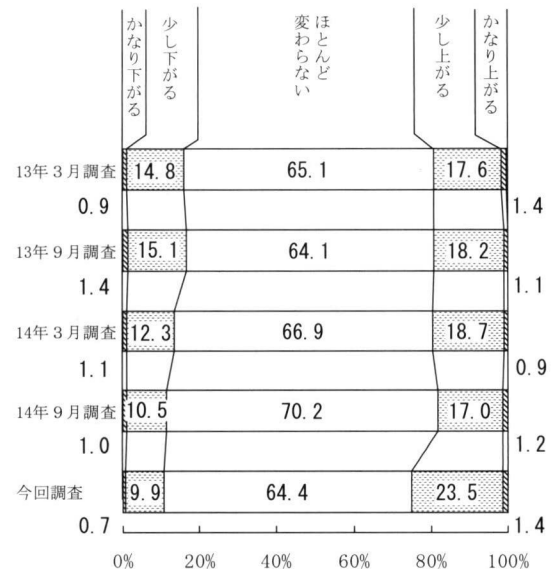
(注) 『物価は下がっている(下がる)』は、「かなり下がっている(下がる)」と「少し下がっている(下がる)」の合計。
『物価は上がっている(上がる)』は、「かなり上がっている(上がる)」と「少し上がっている(上がる)」の合計。

(図表10) 物価に対する実感(%) [問13、15]

<現在を1年前と比べると>



<1年後を現在と比べると>

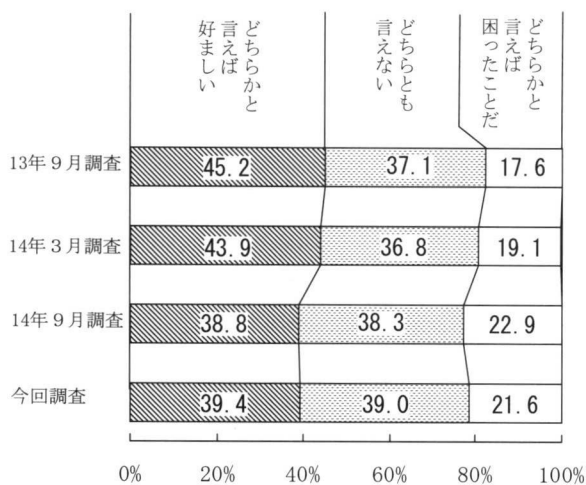


物価が下がっていることについては、「どちらかと言えば困ったことだと思う」との回答が約2割、「どちらかと言えば好ましいことだと思う」との回答は約4割となった。

物価を考える際に、どのようなものの値段をイメージしたかについては、「物価は下がっている」と感じている人では、「食料品の値段」、「衣料品の値段」、「日用品の値段」が多い。一方、「物価は上がっている」と感じている人では、「物価が下がっている」と感じている人に比べ、「病院の診療費や薬の値段」、「電気、ガス、水道料金等の公共料金」、「交通機関の運賃」をイメージしている割合が大きい。

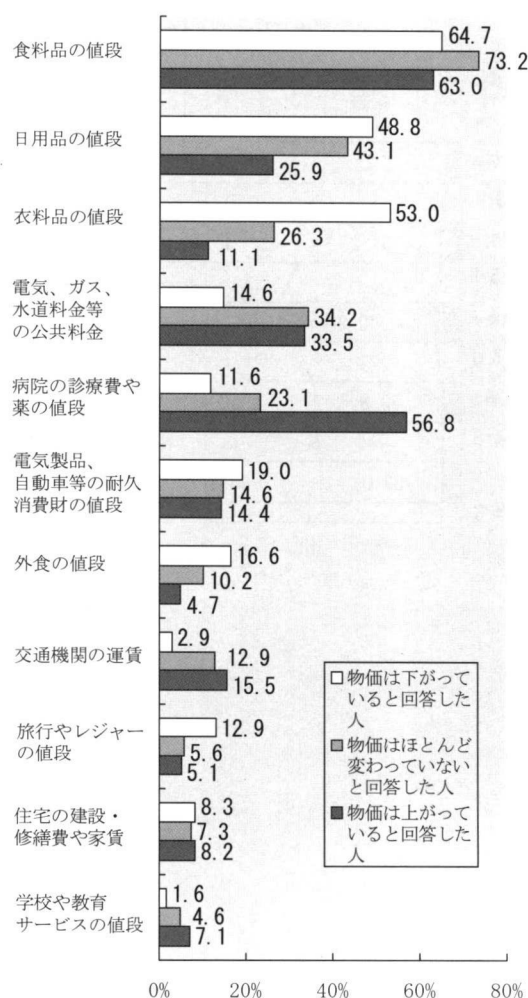
(図表 11) 物価下落についての感想 (%)

〔問 13-a〕



(図表 12) 物価を考える際の具体的なイメージ

(3つまでの複数回答、%) 〔問 14〕

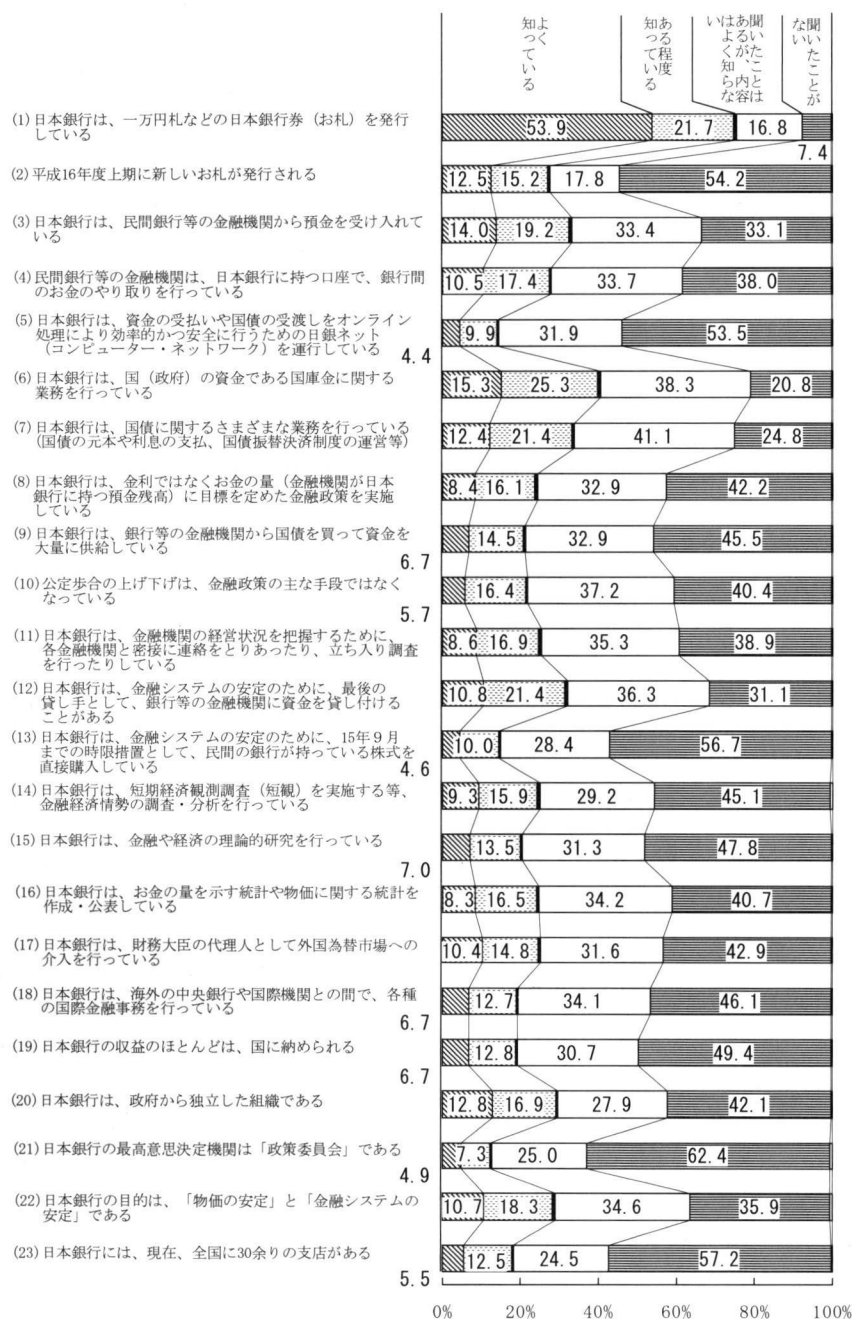


4. 日本銀行に関する認知度、信頼度等

日本銀行の政策や業務などについて「知っている」^(注)との回答は、発券業務が8割弱、国庫金業務が約4割となったほかは、それぞれ1～3割程度となった。

(注) 『知っている』は、「よく知っている」と「ある程度知っている」の合計。

(図表13) 日本銀行の各種業務や役割に関する認知度(%) [問24]

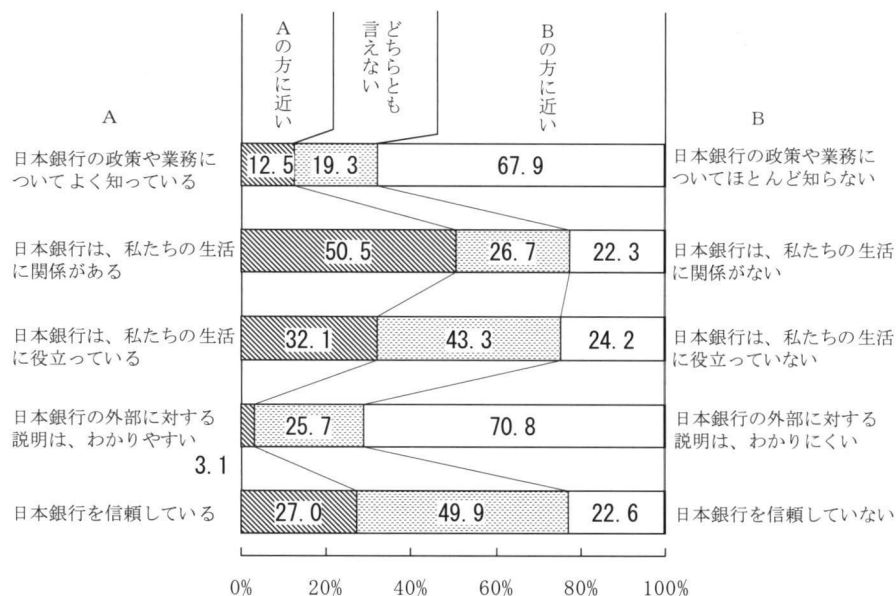


「日本銀行の政策や業務について知らない」、「日本銀行の外部に対する説明は、わかりにくい」との回答は、それぞれ全体の7割程度となった。

「日本銀行は、私たちの生活に関係がある」との回答は5割、「日本銀行は、私たちの生活に役立っている」との回答は3割程度となった。

「日本銀行を信頼している」との回答は全体の3割弱、「信頼していない」との回答は2割強となった。

(図表 14) 日本銀行に対する包括的な認知度や評価 (%) [問 25]



(調査結果)

生活意識に関するアンケート調査 (第16回)

◆N (Number of cases) は、当該質問における回答対象者数。

◆選択肢ごとに付記した太文字の数値は、当該質問における回答対象者数を100としたときの各選択肢の回答比率(単位%、小数第2位四捨五入^(注))。

◆NA (Not Available) は、当該質問における無回答者の比率。

(注) 四捨五入の関係から、単数回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも100にはならない。

問1. 1年前と比べて、最近の景気はどう変わったと思いますか。(○は1つ)

<N=3,043>

1	2	3
良くなっていると思う	変わらないと思う	悪くなっていると思う
0.7	28.3	70.9
		(NA 0.1)

問2. そうお考えになるのは、主にどのようなことからですか。(○は2つまで)

<N=3,043>

1 マスコミを通じて	35.2	5 商店街、盛り場等の混み具合	24.2
2 景気関連指標、経済統計をみて	18.2	をみて	
3 勤め先や自分の店の経営状況から	38.8	6 なんとなく漠然と	4.9
		7 その他	2.4
4 自分や家族の収入の状況から	37.1		
			(NA 0.1)

(問1で「3 悪くなっていると思う」と答えた方にお聞きします)

問3. 景気に関して、次にあげる中であなたの実感に近いのはどれですか。(○はいくつでも)

<N=2,159>

1 企業の努力等により、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う	12.8
2 経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う	18.9
3 自分の暮らし向きについて言えば生活に困るというほど深刻ではないと思う	24.4
4 不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力等では対応に限界があると思う	62.0
5 その他	8.2
	(NA 0.5)

(全員にお聞きします)

問4. 1年後の景気は、現在と比べてどうなると思いますか。(○は1つ)

<N=3,043>

1
良くなっていると思う
3.3

2
変わらないと思う
59.8

3
悪くなっていると思う
36.7

(NA 0.2)

問5. 現在の金利水準に関して、どのようにお考えになりますか。(○は2つまで)

<N=3,043>

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 企業の活動が活発になり、景気が良くなることを期待している | 34.7 |
| 2 | 現在の金利水準でも、景気が良くなることは期待できない | 54.9 |
| 3 | 預金等から受け取る利子が少ないのがつらい | 45.7 |
| 4 | 受け取る利子は少ないが、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない | 6.8 |
| 5 | 住宅ローン等の借入れをしようと考えている(あるいは、既にしている)ので、金利負担が小さいのは助かる | 8.5 |
| 6 | その他 | 2.5 |

(NA 0.4)

問6. 1年前と比べて、あなた(またはご家族)の収入はどうになりましたか。(○は1つ)

<N=3,043>

1
増えた
4.5

2
変わらない
39.8

3
減った
55.6

(NA 0.1)

問7. 1年後のあなた(またはご家族)の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。(○は1つ)

<N=3,043>

1
増えると思う
4.3

2
変わらないと思う
47.6

3
減ると思う
48.0

(NA 0.2)

問8. 1年前と比べて、あなた(またはご家族)の支出をどのようにしていますか。(○は1つ)

<N=3,043>

1
増やしている
4.3

2
変わらない
45.9

3
減らしている
49.7

(NA 0.1)

(問8-aへ)

(問9へ)

(問8-bへ)

(問8で1と答えた方にお聞きします)

問8-a. 支出を増やしているのはなぜですか。 <N=131> (○はいくつでも)	
1 収入が増えているから	15.3
2 将来、収入が増えると見込まれるから	6.9
3 減税等に伴い、家計の負担が減少したから	0.8
4 今後、年金や社会保険の改善・充実等が見込まれるから	2.3
5 購入した家等の不動産が値上がりしたから	0.8
6 購入した株式や債券等の金融資産が値上がりしたから	0.0
7 低金利で住宅ローン等の返済額が減少したから	1.5
8 予定していた住宅購入を諦めたから(あるいは当面延期したから)	0.0
9 欲しい商品やサービスがあるから	19.8
10 たまたま大きな支出項目があったから	66.4
11 なんとなく	6.9

(NA 0.0)

(問8で3と答えた方にお聞きします)

問8-b. 支出を減らしているのはなぜですか。 <N=1,511> (○はいくつでも)	
1 不景気やリストラ等のために収入が頭打ちになったり、減ったりしているから	44.6
2 将来の仕事や収入に不安があるから	61.7
3 今後は年金や社会保険の給付が少なくなるのではないかと不安から	57.2
4 将来、増税や社会保障負担の引き上げが行われるのではないかと不安から	40.6
5 住宅ローンを抱える一方で、購入した家等の不動産が値下がりしたから	7.1
6 購入した株式や債券等の金融資産が値下がりしたから	8.1
7 低金利で金利収入が少ないから	18.6
8 欲しい商品やサービスがあまりないから	6.8
9 たまたま大きな支出項目がなかったから	3.8
10 なんとなく	1.1

(NA 0.2)

(全員にお聞きします)

問9. 問8の支出を、(1)生活費や教育費等日常的な支出(生活していくためのお金)と、(2)趣味やレジャー等選択的な支出((1)以外のお金)の2つに分けてみると、どうですか。(1)と(2)それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

<N=3,043>

		[1] 切り詰めている	[2] なんとなく減らしている	[3] 変えていない	[4] やむなく増えている	[5] 増やしている	
(1)	生活費や教育費等日常的な支出 (生活していくためのお金)	26.3	30.7	31.2	11.3	0.3	(NA 0.3)
(2)	趣味やレジャー等選択的な支出 ((1)以外のお金)	36.4	35.9	23.5	2.8	1.2	(NA 0.2)

問10. 今後1年間の支出をどのようにしようと考えていますか。(○は1つ)

<N=3,043>

1	2	3
増やそうと思う	現状を維持しようと思う	減らそうと思う
1.3	52.6	45.9
		(NA 0.1)

問11. あなたは、以下のどの項目が実現すれば支出を増やすと思いますか。(○はいくつでも)

<N=3,043>

1	所得税減税	31.4
2	消費税率の引き下げ	34.7
3	住宅ローン、教育ローン等がある人を対象とした政策減税	12.7
4	雇用や収入の不安の解消	47.0
5	金融システム不安の解消	21.2
6	年金改革や財政赤字等に対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する	34.4
7	公的介護等高齢者福祉の充実による老後の不安の解消	31.4
8	預貯金金利の上昇	30.4
9	デフレの解消	19.9
10	その他	2.8
11	支出を増やすつもりはない	8.9
		(NA 0.1)

問12. 支出について今のあなたの考え方に特にあてはまるものはどれですか。(○は2つまで)

<N=3,043>

1	基本的には、収入が増えれば支出も増えると思う	62.3
2	現在の収入よりも将来の不安があるかないかによって、支出は変わると思う	44.5
3	商品やサービスの価格が、今後値上がりするか値下がりするかの予想によって、支出は変わると思う	9.2
4	住宅等の不動産を持っているので、こうした資産の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	4.2
5	株式や投資信託等を持っているので、株価の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	4.5
6	税金や社会保険料によっても手取り収入は変わるので、支出はこれらの影響も受けると思う	32.2
7	買いたいと思わせるような魅力的な商品やサービスがあるかどうかで支出は変わると思う	12.3
8	似たような新商品が次々に登場したり、短期間で価格が大きく変わったりすると、買い時の判断が影響を受けるから、支出は変わると思う	3.6
		(NA 0.5)

問13. 物価についてお聞きします。

1年前と比べて、現在の物価をどのように感じていますか。(○は1つ)

<N=3,043>

1	2	3	4	5
かなり下がっている	少し下がっている	ほとんど変わっていない	少し上がっている	かなり上がっている
4.8	32.0	48.3	13.5	1.3
				(NA 0.1)

(問13で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問13-a. 物価が下がっていることについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

<N=1,120>

1	2	3
どちらかと言えば、 好ましいことだと思う	どちらかと言えば、 困ったことだと思う	どちらとも言えない
39.4	21.6	39.0
		(NA 0.0)

(全員にお聞きします)

問14. あなたは、問13で物価を考えた際に、主にどのようなものの値段をイメージしましたか。

<N=3,043>

(○は3つまで)

1 食料品の値段	68.5	7 電気、ガス、水道料金等の公共料金	26.9
2 日用品の値段	42.6	8 住宅の建設・修繕費や家賃	7.8
3 衣料品の値段	33.9	9 旅行やレジャーの値段	8.2
4 外食の値段	11.7	10 病院の診察費や薬の値段	23.8
5 電気製品、自動車等の耐久消費財の値段	16.2	11 学校や教育サービスの値段	3.9
6 交通機関の運賃	9.6	12 その他	1.6

(NA 0.2)

問15. 1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(○は1つ)

<N=3,043>

1	2	3	4	5
かなり下がる と思う	少し下がる と思う	ほとんど変わら ないと思う	少し上がる と思う	かなり上がる と思う
0.7	9.9	64.4	23.5	1.4
				(NA 0.1)

問16. 今後の地価について、どのようなイメージを持っていますか。(○は1つ)

<N=3,043>

1	以前と比べて随分下がったので、そろそろ上昇すると思う	8.3
2	現状程度が適切な水準であり、しばらくはこの程度だと思う	45.3
3	依然として高いので、まだ下がると思う	15.9
4	わからない	30.3
		(NA 0.1)

問17. あなたは、ご自分の暮らし向きについて、1年前と比較してどのようにお感じになっていますか。(○は1つ)

<N=3,043>

1
どちらかと言えば、
ゆとりが出てきたと思う

3.8

2
どちらかと言えば、
苦しくなってきたと思う

54.4

3
どちらとも言えない

41.8

(NA 0.0)

(問17で1と答えた方にお聞きします)

問17-a. その理由は次のうちどれですか。

<N=116>

(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|------|
| 1 給与等の定期的な収入が増えたから | 50.0 |
| 2 利子等のその他収入が増えたから | 1.7 |
| 3 土地・住宅等の不動産の売却による収入があったから | 0.0 |
| 4 予定していた住宅購入を諦めたから(または当面延期したから) | 2.6 |
| 5 物価が下がっている、あるいは、安定しているから | 26.7 |
| 6 保有する株式・不動産等の資産の価格が上がったから | 0.0 |
| 7 扶養家族が減ったから | 23.3 |
| 8 その他 | 19.0 |

(NA 0.0)

(問17で2と答えた方にお聞きします)

問17-b. その理由は次のうちどれですか。

<N=1,654>

(○はいくつでも)

- | | |
|--|------|
| 1 給与等の定期的な収入が減ったから | 73.2 |
| 2 利子等のその他収入が減ったから | 24.8 |
| 3 土地・住宅等の不動産の購入費用がかさんだから(または購入を予定しているから) | 6.3 |
| 4 物価が上がっているから | 12.5 |
| 5 保有する株式・不動産等の資産の価格が下がったから | 11.2 |
| 6 扶養家族が増えたから | 9.3 |
| 7 その他 | 17.2 |

(NA 0.0)

(全員にお聞きします)

問18. あなたは、日本の経済の成長力について、どうお考えですか。(○は1つ)

<N=3,043>

1
一時的な振れはあっても、
長い目でみれば、なお成長
を続けられると思う

13.6

2
長い目でみればあまり成長は
期待できないと思う

58.2

3
どちらとも言えない

28.2

(NA 0.0)

問19. あなた（またはご家族）のところでは、給与や人員の抑制・削減といった合理化、リストラがここ1年くらいの間に行われましたか、あるいは今後予定されていますか。（○は1つ）

 $\langle N=3,043 \rangle$

1	2	3	4
行われた	まだ行われていないが、 今後行われる予定である	行われていないし、今後 行われる予定もないと思う	わからない
34.2	12.6	22.7	30.4
			(NA 0.1)

(問 19 で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問19-a. 具体的には、どのようなことが実施されましたか、あるいは予定されていますか。(〇はいくつでも)

 $\langle N=1, 425 \rangle$

1	時間外労働の削減	33.7
2	給与カットや賃金制度の見直し	66.5
3	新卒採用の抑制	21.7
4	出向や早期退職勧奨等による人員の削減や解雇	32.1
5	ポストの削減や組織の改革	19.6
6	人事、資格制度の見直し	14.5
7	ワークシェアリング	3.5
8	その他	6.0
9	予定されているが、具体的にはわからない	3.5

(N A 0.4)

(全員にお聞きします)

問20. あなた（またはご家族）の勤め先での雇用・処遇（給与、ポスト、福利厚生等）に不安を感じていますか。（○は1つ）

 $\langle N=3, 043 \rangle$

1	2	3	4
あまり不安を 感じていない	少し不安を 感じている	かなり不安を 感じている	自分も家族も 関係ない
12.9	44.7	27.9	14.2 (NA 0.3)

問21. あなたのご家族の中で、就職・再就職を考えている方は（あなた自身を含めて）いらっしゃいますか。（○は1つ）

<N=3, 043>

1
い る
35.3

2
いない
64.6

(NA 0.1)

(問 22 へ)

(問 21 で 1 と答えた方にお聞きします)

問21-a. あなた（またはその方）の就職・再就職に不安を感じていますか。（○は1つ）

<N=1, 073>

1	あまり不安を感じていない	5.9
2	少し不安を感じている	36.0
3	かなり不安を感じている	57.9

(NA 0.3)

(全員にお聞きします)

問22. マイホームの購入・買い替えを具体的に計画していますか。（○は1つ）

<N=3, 043>

1
いまのところ購入・
買い替えの計画はない
92.0

2
はじめてマイホームを
購入する計画がある
3.7

3
買い替えの計画がある
3.4

4
セカンドハウスを購入
する計画がある
0.7

(NA 0.2)

問23. あなたには、住宅ローンや消費者ローン等の借入金がありますか。（○は1つ）

<N=3, 043>

1
あ る
33.4

2
な い
66.6

(NA 0.0)

以降の間 24. ～27. の設問は日本銀行に関係する設問です。

問24. 次の(1)～(23)の項目は、日本銀行の政策や業務等について述べたものです。あなたにとって、もっともあてはまると思われる番号に○を付けてください。(○はそれぞれ1つ)

<N=3,043>

		[1] よく知っている	[2] ある程度 知っている	[3] 聞いたことはあるが、 内容はよく知らない	[4] 聞いたことがない	
(1)	日本銀行は、一万円札などの日本銀行券(お札)を発行している	53.9	21.7	16.8	7.4	(NA 0.2)
(2)	平成16年度上期に新しいお札が発行される	12.5	15.2	17.8	54.2	(NA 0.3)
(3)	日本銀行は、民間銀行等の金融機関から預金を受け入れている	14.0	19.2	33.4	33.1	(NA 0.3)
(4)	民間銀行等の金融機関は、日本銀行に持つ口座で、銀行間のお金のやり取りを行っている	10.5	17.4	33.7	38.0	(NA 0.3)
(5)	日本銀行は、資金の受払いや国債の受渡しをオンライン処理により効率的かつ安全に行うための日銀ネット(コンピューター・ネットワーク)を運行している	4.4	9.9	31.9	53.5	(NA 0.3)
(6)	日本銀行は、国(政府)の資金である国庫金に関する業務を行っている	15.3	25.3	38.3	20.8	(NA 0.3)
(7)	日本銀行は、国債に関するさまざまな業務を行っている(国債の元本や利息の支払、国債振替決済制度の運営等)	12.4	21.4	41.1	24.8	(NA 0.3)
(8)	日本銀行は、金利ではなくお金の量(金融機関が日本銀行に持つ預金残高)に目標を定めた金融政策を実施している	8.4	16.1	32.9	42.2	(NA 0.4)
(9)	日本銀行は、銀行等の金融機関から国債を買って資金を大量に供給している	6.7	14.5	32.9	45.5	(NA 0.4)

(10)	公定歩合の上げ下げは、金融政策の主な手段ではなくなっている	5.7	16.4	37.2	40.4	(NA 0.4)
(11)	日本銀行は、金融機関の経営状況を把握するために、各金融機関と密接に連絡をとりあったり、立ち入り調査を行ったりしている	8.6	16.9	35.3	38.9	(NA 0.3)
(12)	日本銀行は、金融システムの安定のために、最後の貸し手として、銀行等の金融機関に資金を貸し付けることがある	10.8	21.4	36.3	31.1	(NA 0.4)
(13)	日本銀行は、金融システムの安定のために、15年9月までの時限措置として、民間の銀行が持っている株式を直接購入している	4.6	10.0	28.4	56.7	(NA 0.4)
(14)	日本銀行は、短期経済観測調査（短観）を実施する等、金融経済情勢の調査・分析を行っている	9.3	15.9	29.2	45.1	(NA 0.5)
(15)	日本銀行は、金融や経済の理論的研究を行っている	7.0	13.5	31.3	47.8	(NA 0.4)
(16)	日本銀行は、お金の量を示す統計や物価に関する統計を作成・公表している	8.3	16.5	34.2	40.7	(NA 0.3)
(17)	日本銀行は、財務大臣の代理人として外国為替市場への介入を行っている	10.4	14.8	31.6	42.9	(NA 0.4)
(18)	日本銀行は、海外の中央銀行や国際機関との間で、各種の国際金融事務を行っている	6.7	12.7	34.1	46.1	(NA 0.4)
(19)	日本銀行の収益のほとんどは、国に納められる	6.7	12.8	30.7	49.4	(NA 0.4)
(20)	日本銀行は、政府から独立した組織である	12.8	16.9	27.9	42.1	(NA 0.3)
(21)	日本銀行の最高意思決定機関は「政策委員会」である	4.9	7.3	25.0	62.4	(NA 0.5)
(22)	日本銀行の目的は、「物価の安定」と「金融システムの安定」である	10.7	18.3	34.6	35.9	(NA 0.5)
(23)	日本銀行には、現在、全国に30余りの支店がある	5.5	12.5	24.5	57.2	(NA 0.3)

問25. 日本銀行について、以下の5組〔(1)～(5)〕の対照的な考え方があります。あなたの考えは、それぞれについてA、Bどちらに近いですか。(○はそれぞれ1つ)

<N=3,043>

		〔1〕 Aに近い	〔2〕 どちらかと言えばAに近い	〔3〕 言えない どちらとも	〔4〕 どちらかと言えばBに近い	〔5〕 Bに近い	
	A					B	
(1)	日本銀行の政策や業務についてよく知っている	2.3	10.2	19.3	29.5	38.4	(NA 0.3)
(2)	日本銀行は、私たちの生活に関係がある	18.1	32.4	26.7	12.9	9.4	(NA 0.4)
(3)	日本銀行は、私たちの生活に役立っている	10.1	22.0	43.3	13.0	11.2	(NA 0.4)
(4)	日本銀行の外部に対する説明は、わかりやすい	0.7	2.4	25.7	29.1	41.7	(NA 0.4)
(5)	日本銀行を信頼している	9.7	17.3	49.9	11.9	10.7	(NA 0.4)

問26. あなたが日本銀行に関する情報を見聞きするのは、主にどのような情報媒体からですか。

<N=3,043>

(○はいくつでも)

1	新聞記事	66.8
2	雑誌記事	9.9
3	テレビ・ラジオ報道	77.3
4	一般の書籍	2.8
5	日本銀行が発行している刊行物	1.2
6	インターネット	3.3
7	日本銀行のインターネット・ホームページ	0.7
8	有識者・政財界人の発言	15.2
9	知人や親類等の話	4.6
10	ほとんど見聞きしたことがない	11.4
		(NA 0.1)

問27. 日本銀行の政策や活動に関して、ご意見やご要望などがありましたら、どんなことでも結構です。ご自由にお書きください。

<N=3,043>

1	記入あり	12.8
2	記入なし	87.2

(NA 0.0)

最後に、あなたご自身のことやお宅のことについてお伺いします。

〔立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を分析するために使いますので、さしつかえなければお答えください。〕

(全員にお聞きします)

F 1. あなたの性別は。

<N=3,043>

1	2
男	女
50.1	49.9

(NA 0.0)

F 2. あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)

<N=3,043>

1	2	3	4	5	6
20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
11.9	17.3	18.3	21.3	18.2	13.1

(NA 0.0)

F 3. 結婚していच्छいますか。

<N=3,043>

1	2	3
既婚 (配偶者あり)	既婚 (配偶者と離別・死別)	未婚
74.8	9.5	15.5

(NA 0.2)

F 4. あなたのご職業は。(○は1つ)

<N=3,043>

自営業・ 家族従業者 16.8	{	1 農林漁業	4.5	{	勤労者 48.4	{	4 管理職	5.4	{	無職者 34.5	{	10 専業主婦	14.1
		2 商工・ サービス業	9.2				5 専門技術職・教員	9.0				11 学生	1.8
		3 自由業	3.1				6 事務職	8.1				12 年金・恩給生活者	13.8
							7 労務職	8.3				13 その他無職	4.8
							8 販売・サービス職	7.5					
							9 パート勤め	10.1					

(NA 0.3)

(F 4で、1～10 のいずれかを答えた方にお聞きします)

F 4-a. あなたのお仕事あるいは勤め先の業種は何ですか。パート勤めの方は、あなたもしくは配偶者の中で主として生計を支えていच्छる方の業種について、専業主婦の方は、ご主人の勤め先の業種についてお答えください。(○は1つ)

<N=1,677>

1 農林漁業	8.6	6 金融・保険業	3.5
2 製造業	19.9	7 電気・ガス・水道業	3.1
3 卸・小売業、飲食店	12.7	8 サービス業	16.9
4 運輸・通信業	4.7	9 公務員	7.7
5 建設・不動産業	12.0	10 その他	10.3

(NA 0.7)

(全員にお聞きします)

F 5. 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。

(夫婦で同じ程度という場合等は、「1 はい」に○をつけてください。)

<N=3,043>

1
はい
54.9

2
いいえ
44.8

(NA 0.3)

F 6. あなた(および配偶者)の昨年1年間の収入(税込み)は、次のどの区分に入りますか。

(ただし、退職金や土地の売却代金等一時的な収入は除き、年金は含めてください。)(○は1つ)

<N=3,043>

1 収入はない	3.6	6 600~800万円未満	12.5
2 300万円未満	33.3	7 800~1,000万円未満	6.2
3 300~400万円未満	16.5	8 1,000万円~1,500万円未満	3.7
4 400~500万円未満	10.6	9 1,500万円以上	1.8
5 500~600万円未満	8.0		

(NA 3.8)

F 7. あなた(および配偶者)は収入(生活費)をどのようなかたちで得ていますか。

最も金額の多いものをお選びください。(○は1つ)

<N=3,043>

1 給料(賃金)	63.5	6 株式等の配当や運用益	0.0
2 事業からの収益	8.9	7 預金等貯蓄の取り崩し	0.6
3 アパート等の不動産からの賃貸料	1.4	8 家族や国等からの援助	1.2
		9 その他	1.0
4 年金	21.1	10 収入はない	1.8
5 利子収入	0.0		

(NA 0.5)

F 8. あなた(および配偶者)の貯蓄残高は、次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた預貯金、信託、保険、株式、債券、投資信託等の合計額でお答えください。なお、生命保険、損害保険、共済については掛け捨て型のものを除いてお答えください。(○は1つ)

<N=3,043>

1 貯蓄はない	23.0	4 1,000万円~2,000万円未満	9.8
2 500万円未満	39.1	5 2,000万円以上	8.4
3 500万円~1,000万円未満	14.9		

(NA 4.9)

F 9. あなた(および配偶者)の借入残高は、次のどの区分に入りますか。(○は1つ)

(注) クレジットカードを利用したの買い物や事業目的の借入れは除きます。

<N=3,043>

1 借入金はない	64.0	4 1,000万円~2,000万円未満	7.2
2 500万円未満	13.8	5 2,000万円~5,000万円未満	5.6
3 500万円~1,000万円未満	5.9	6 5,000万円以上	0.8

(NA 2.7)

F 10. 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。(○は1つ)

<N=3, 043>

1	1人住まい世帯	5.8	6	親(あなた)と既婚の子供の世帯	2.4
2	夫婦だけ世帯	20.0	7	親と既婚の子供(あなた)の世帯	3.2
3	夫婦(あなた)と未婚の子供 (学生以下)の世帯	20.1	8	親(あなた)と子供と孫の世帯	4.3
4	夫婦(あなた)と未婚の子供 (上記以外)の世帯	16.3	9	親と子供(あなた)と孫の世帯	6.5
5	親と未婚の子供(あなた)の世帯	13.8	10	その他	7.1

(NA 0.7)

F 11. あなた(またはご家族)のお住まいは、次のどれにあたりますか。複数ある場合は、あなた自身が生活の拠点としているお住まいについてお答えください。(○は1つ)

<N=3, 043>

1	土地付き持ち家	70.1	4	借家(一戸建)	4.1
2	持ち家のマンション	4.9	5	賃貸マンション・アパート	15.1
3	借地持ち家	2.9	6	社宅、官舎、寮	2.7

(NA 0.2)